

みずほCustomer Desk Report 2023/05/31号 (As of 2023/05/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	140.25
TKY 9:00AM	140.48	1.0706	150.40	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	140.93	1.0746	150.63	1.2357	0.6529
SYD-NY Low	139.57	1.0673	149.74	1.2447	0.6557
NY 5:00 PM	139.79	1.0734	150.06	1.2328	0.6503
				1.2413	0.6517

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	33,042.78	▲ 50.56	日本2年債	▲0.0600%
NASDAQ	13,017.43	41.74	日本10年債	0.4300%
S&P	4,205.52	0.07	米国2年債	4.4584%
日経平均	31,328.16	94.62	米国5年債	3.8128%
TOPIX	2,159.22	▲ 1.43	米国10年債	3.6933%
ソコ日経先物	31,155.00	▲ 375.00	独10年債	2.3590%
ロンドンFT	7,522.07	▲ 105.13	英10年債	4.2415%
DAX	15,908.91	▲ 43.82	豪10年債	3.6830%
ハンセン指数	18,595.78	44.67	USDJPY 1M Vol	10.94%
上海総合	3,224.21	2.76	USDJPY 3M Vol	10.52%
NY金	1,958.00	13.70	USDJPY 6M Vol	10.51%
WTI	69.46	▲ 3.21	USDJPY 1M 25RR	▲1.65%
CRB指数	255.50	▲ 5.21	EURJPY 3M Vol	9.84%
ドルインデックス	104.17	▲ 0.13	EURJPY 6M Vol	10.18%
				Yen Call Over
				0.01%
				0.02%

東京	東京時間のドル円は140.48レベルでオープン。序盤は実需のフローもあってドル売りが優勢となり、一時139.97まで下落。ただその水準で下げ止まると、その後は特段材料はなかったように思われるものの、広範なドル買いが進み、ドル円も直近高値となる140.93まで上昇し、140.90レベルで海外時間に渡った。また東京クロス後しばらくして、「財務省、日銀、金融庁が情報交換会を実施」とのヘッドラインが流れると急速に円が買われ、140円台半ば近辺まで値を下げて推移している。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、140.90レベルでオープン。休日明けの欧州市場は、米長期金利の低下を横目に全般にドル売り。ドル円も139.65まで売られ139.67レベルでNYに渡った。ポンド円は一時2016年以来となる174円台をつけたが、ドル円に押され173円台でNYへ渡った。なお、トルコの大統領決選投票で現職のエルトアン氏が勝利宣言をしたことを受けて市場はトルコリラ売りで反応した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は140円台半ばでスタート。五、十日に伴う売り買いが交錯し、一時141円手前まで上昇するも、伸び悩み140円台前半まで反落。その後、財務省・金融庁・日銀の三者会合が行われ、神田財務相財務官が「必要があれば適切に対応していく考えは変わらない」との見方を示すと、本邦政府の為替介入の警戒感が強まり、円買いが優勢となり、140円台を割り込み、139.67レベルでNYオープン。序盤はじり高で推移し、朝方に発表された米3月住宅関連の指標が予想より良好な結果や、米5月消費者信頼感指数が予想を上回った事を背景に、140.11まで上昇する。しかし、その後米金利が低下する中、ドル円も連れ安となり、139.57まで下落。正午前に複数のフリーダム・コーカス(米下院共和党保守派)メンバーが債務上限引き上げ案に対して反対するとのヘッドラインが伝わったが、週末にも同様の話が出ていた事から、大きな値動きに繋がらず。午後は米債務上限問題を巡り、明日に議会採決を控えている事から、様子見ムードが強くなり、139.80近辺での推移が続き、139.79レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。ユーロ圏4月の企業と家計向け融資の内容が共に前月比で鈍化している事や、スペイン5月CPIが予想を下回るなどユーロ圏の景気とインフレ減速が意識され、1.06台後半まで売られる。その後欧州株式市場の堅調な展開につれ高値され、1.07台半ばまで上昇し、1.0744レベルでNYオープン。オープン直後は高値の1.0746を付けるも、その後は1.0730付近を挟んだ方向感乏しい推移が続く。午後は独金利が低水準で推移する中、1.0720近辺で揉み合い後、小幅反発し1.0734レベルでクロス。

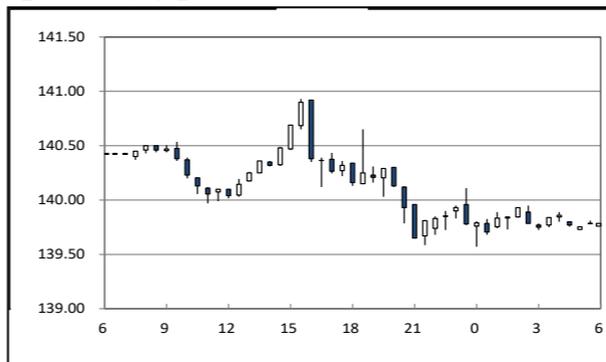
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月30日	08:30	日 失業率	4月 2.6%	2.7%
	18:00	欧 消費者信頼感・確報	5月 -17.4	-
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	5月 102.3	99.0
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動	5月 -29.1	-18.0

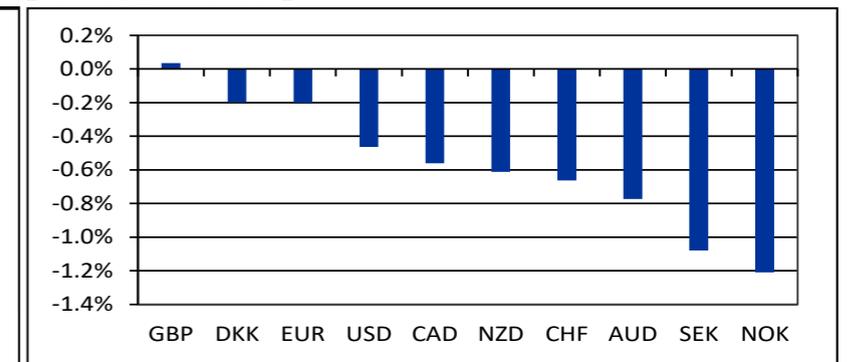
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	4月 1.4%/2.0%	1.1%/-0.6%
	10:30	中 製造業/非製造業PMI	5月 49.5/55.2	49.2/56.4
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 0.2%/6.5%	0.4%/7.2%
	23:00	米 JOLT求人	4月 9400K	9590K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.00-140.40	1.0650-1.0780	149.00-150.50

【マーケットインプレッション】

東京序盤はドル売り優勢の地合いとなり一時140円を下回る水準まで下落したが、一巡後にドル買い地合いが強まる中で140円台後半まで値を上げる展開。その後「財務省、日銀、金融庁が情報交換会を実施」とのヘッドラインが流れたことで、ドル円は介入警戒感から円買い強まりNY時間にかけて139円台後半まで下落。その後米金利低下の動きを受けて139.57まで反落し、139.79レベルでクロス。

本日のドル円は上値の重い展開を予想。年初来高値を更新し141円を伺うタイミングでの三者会合のヘッドラインは相応のインパクトを伴ったものであった。直ぐに実際の介入が行われる蓋然性は低いと考えるが、ヘッドラインが出た141円を伺うタイミングがレジスタンスラインとして意識されるため、この水準から新たにドル買いポジションを構築しにくいのではないかと。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上野・松木